



ココに注目!

ほうしゅ学舎再建へ《トピックス》 P2

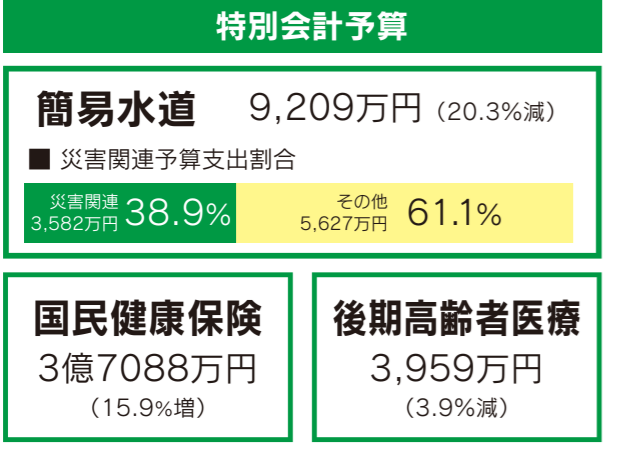
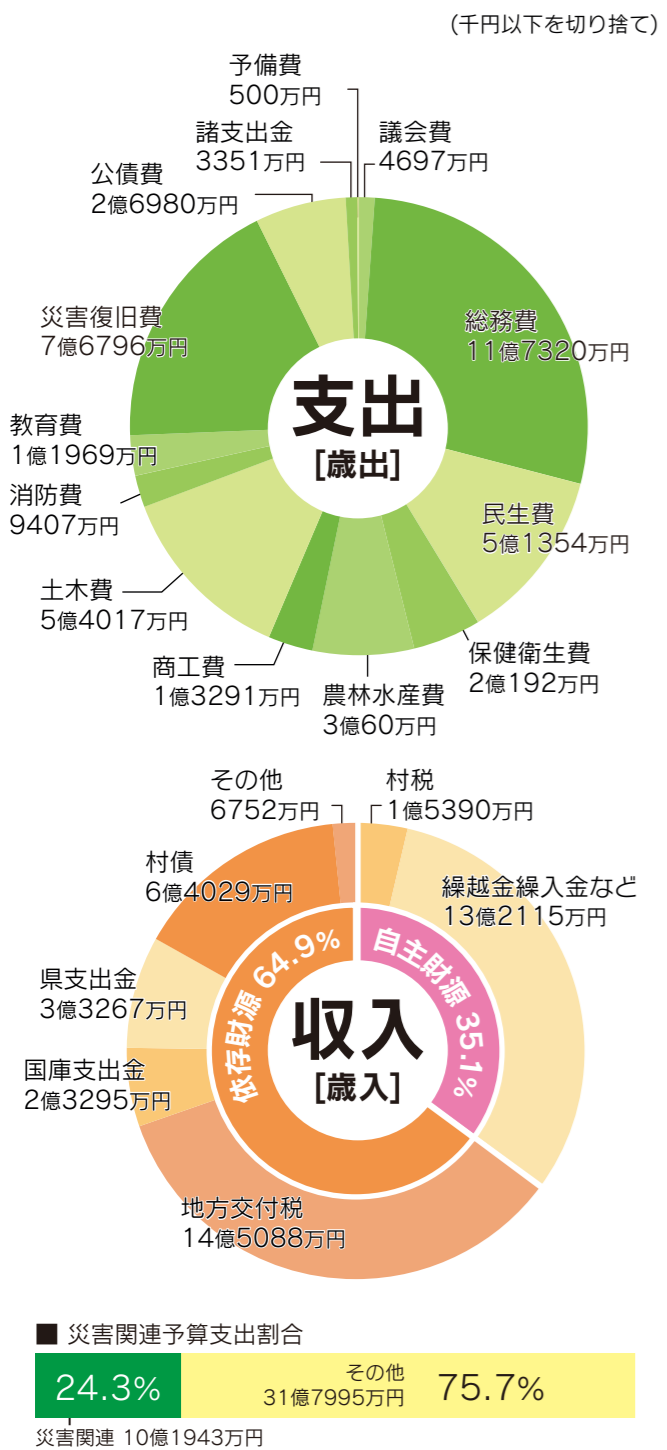
今年の注目事業《予算審議》 P4

どげんなっちょる? 《一般質問》 P9

令和2年度当初予算
ほうしゅ楽舎再建へ
問われる施設復旧のあり方と財政バランス



一般会計予算
41億9939万円 (20.4%減)



議員 旧小石原小学校や、ゲストハウス等、村内宿泊施設との客層が似ており競合する。施設間の調整は。

担当課 今年度まで計画は企画政策課が、来年度から運営は農林観光課が担当する。施設間の連携は図っていききたい。

議員 予算の財源は、**担当課** 設計、整地、建築については国の補助対象となっており、上限額の50%が交付される見込み。残りは過疎債の起債をすることを考えている。

ほうしゅ楽舎事業費内訳表 (千円、令和3年度は見込)

	令和2年度	令和3年度
建築工事		324,000
造成工事	13,000	
設計監理委託費	45,279	9,500
用地買収費等	12,600	
計	70,879	333,500

議員 500万円のコンサルタント委託をせずに、自分たちで考えるシステムが出来ないのか。

担当課 再建検討委員会は年3回を予定している。運営計画も

議員 財政が厳しい中、これほどの金額で建設する必要があるのか。また、建設後の管理は。

担当課 災害の復興として建設する。目的は、観光客の誘致、宿泊や食事等の施設、災害発生時の避難滞在や復旧活動の拠点、住民が法事・行事等で活用できる施設として計画している。今後指定管理制度にて維持管理していく。

議員 収益性と公益性を併せ持った施設となる。どのような運営形態で収益を上げるのか。

担当課 以前は年間約3000名の受け入れをしており、4000~5000名の間まで集客を増やせば採算が取れる。個人客では難しいので、学校単位や企業研修、大学等のゼミ等を念頭に営業していく必要がある。来年度指定管理制度を見直すので、その中で考えたい。

地域の代表等と一緒に考えていく予定だが、業務を行う上で職員のみだと人的パワーが足りない。

質疑

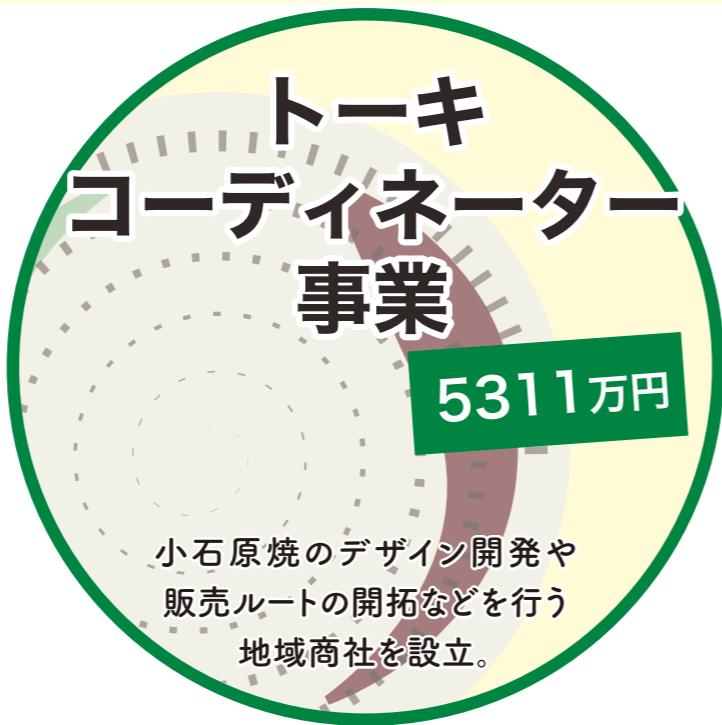
令和2年3月定例会において令和2年度一般会計及び特別会計予算が可決成立しました。本年度は平成29年災害から4年目となり、災害復旧工事も終盤に差し掛かります。現在村では復旧工事と合わせて、復興事業も同時に手がけています。今回予算計上された、ほうしゅ楽舎再建事業は、2力年で約4億400万円が計上されることになりました。議会としては、予算執行にあたり議会と協議をして進めることを求めました。

今年の注目事業



弓道場再建事業
4724万円

平成29年九州北部豪雨災害で被災した、宝珠山弓道場の再建を行うもの。



トーキコーディネーター事業
5311万円

小石原焼のデザイン開発や販売ルートの開拓などを行う地域商社を設立。



ウォーキングマイレージ事業
549万円

無料で貸し出す歩数計を利用し、歩数に応じてたまるポイントを物品などに交換することで、楽しみながら住民の皆さんの健康づくりを応援するための事業。



水源の森交流館(仮称)整備事業
3億6540万円

小石原川ダム建設に伴う水源地域振興事業として、旧小石原小学校跡地の利活用を図るため、研修施設や宿泊・レストランなど、交流拠点施設としての改修・整備を行うもの。

質疑あれこれ

✓弓道場再建について

議員 村内の弓道人口、及び以前の弓道場の使用頻度は。また、場所は。

担当課 弓道同好会の部員数は7名。練習は基本的に週1回で毎年6月にほたるの里弓道大会を開催していた。場所はいずみ館裏の東峰自然公園を予定している。

議員 財政的に厳しい中で、今復旧する理由は。

担当課 災害で全壊し、共済金の手続き上、概ね3年であることと、全国的に有名な範士佐々木菊太郎氏が宝珠山出身であり、県の弓道連盟等から話があったため。

✓トーキコーディネーター事業

議員 生産量の拡大が課題となっているが、生産が間に合わないとの話も聞く。どのような会社と委託契約しているのか。

担当課 ブランド価値を上げ、事業展開を行う。東京で行った催事では、それなりの価格設定でバイヤーと交渉している。令和元年度は、(株)オリエンタルコンサルタンツと契約し、次年度事業の委託先は白紙。今のままでは商社設立まで本当に可能なのかとの意見も出ており、新たに入札を行う可能性がある。

✓財政について

議員 令和2年度予算を執行すると財政調整基金の残額が約1億3000万円になるが、その後の考えは。

担当課 財政調整基金がなくなると、目的基金を廃止して振替を行う。

議員 起債の動向はどう考えるか。

担当課 災害復旧事業は交付税措置があるが、償還期限は10年と短く、短期に負担が大きくなる。今年度元金で約2億5000万円の償還額だが、再来年くらいから据え置き期間が終了し、増額する見込み。

✓子育て施策について

議員 子育て世代包括支援センターの業務内容は。

担当課 小石原庁舎に看護師1名を配置して、妊娠、出産、子育ての相談や情報提供、学習の機会を作る。

議員 産後ケア事業は日田で受け入れできないのか。

担当課 日田医師会に打診はしたが、大分県ではあと1、2年後に取り組む予定で、その後は受け入れを検討するとのこと。

✓国民健康保険料について

議員 一般財源からの繰入(補てん)が続くが、いつまで可能なのか。

担当課 国から6年間で赤字をゼロにするよう指導が来ている。令和6年までの間に保険税を上げなければならない。

✓ウォーキングマイレージについて

議員 事業による効果についてデータを取っているのか。

担当課 利用頻度のデータはあるが、医療費が安くなった等の効果が目に見えて出るか難しい。

議員 アンケートを取る必要があるのでは。

担当課 できるかぎり検討する。

高橋 議員

ここ数年観光施設等の建設が次々に進み、一つ一つの建設費が高額である。村では20年経過した施設が増加し、維持管理費が必要であるが、今後どのように運営されるのか検討されないままである。村全体で観光や産業をどのように進めていくか、広い観点で見つめないと財政が持たない。

反対

令和2年度一般会計予算 討論

反対

高倉 議員
岩屋キャンプ場やゲストハウス等の宿泊施設があるのに、ほうしゅ楽舎の建設に今年度予算で7600万円、将来的には4億近い事業となり村民は納得しない。既存の施設をもっと活用、利用することを考えるべきで、箱モノ行政を認めるわけにはいかない。村のお金を自分の家のお金と思っていただきたい。

賛成

泉 議員
長い間、慎重な予算審議をしたことから賛成する。

反対

大蔵 議員
行財政改革を進めながら不要不急の歳出を控えてもらいたい。

令和2年3月定例会を3月6日から13日の会期にて開催しました。条例議案7件、新村建設計画の変更1件、補正予算議案3件、当初予算議案4件を慎重審議し、原案どおり可決しました。また、新型コロナウイルス対策の緊急質問と7人の議員が一般質問を行いました。

第1回定例会(3月)議決結果一覧表

区分	審議結果	議案一覧	伊藤均	大蔵久徳	長澤貞義	高倉寛視	高橋弘展	泉守	黒川隆康	梶原光春	梶原伯夫
条例	可決	東峰村附属機関に関する条例の制定について	○	○	-	○	○	○	○	○	○
	可決	東峰村棚田保全基金条例の制定について(企業版ふるさと納税)	○	○	-	○	○	○	○	○	○
	可決	東峰村古民家宿泊施設(ゲストハウス)の設置及び管理運営に関する条例の制定について	○	○	-	○	○	○	○	○	○
	可決	東峰村棚田レストラン・農産加工施設の設置及び管理運営に関する条例の制定について	○	○	-	○	○	○	○	○	○
	可決	東峰村監査委員条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	-	○	○	○	○	○	○
	可決	東峰村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について(会計年度任用職員制度開始に伴う)	○	○	-	○	○	○	○	○	○
	可決	東峰村小石原焼伝統産業会館条例の一部を改正する条例の制定について(利用料金の変更等)	○	○	-	○	○	○	○	○	○
計画	可決	東峰村新村建設計画の変更について	○	○	-	○	○	○	○	○	○
補正予算	可決	令和元年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第5号)について(P8へ)	○	○	-	○	○	○	○	○	○
	可決	令和元年度東峰村簡易水道事業特別会計歳入歳出補正予算(第3号)について	○	○	-	○	○	○	○	○	○
	可決	令和元年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出補正予算(第4号)について	○	○	-	○	○	○	○	○	○
当初予算	可決	令和2年度東峰村一般会計歳入歳出予算について(P2~5へ)									
	可決	令和2年度東峰村簡易水道事業特別会計歳入歳出予算について(P2~5へ)	○	●	-	●	●	○	○	○	○
	可決	令和2年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算について(P2~5へ)									
	可決	令和2年度東峰村後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算について(P2~5へ)									
発議	否決	東峰村議会議長の不信任決議案について	議長	○	-	○	○	●	●	●	●
その他	承認	専決処分の承認を求めることについて(林道大日福井線(3~9)・第1屋根線災害復旧工事の変更契約)	○	○	-	○	○	○	○	○	○

予算審査特別委員会議決結果一覧表

区分	審議結果	議案一覧	伊藤均	大蔵久徳	長澤貞義	高倉寛視	高橋弘展	泉守	黒川隆康	梶原光春	梶原伯夫
当初予算	可決	令和2年度東峰村一般会計歳入歳出予算について(P2~5へ)	○	●	-	●	●	○	○	○	○
	可決	令和2年度東峰村簡易水道事業特別会計歳入歳出予算について(P2~5へ)	○	○	-	○	○	○	○	○	○
	可決	令和2年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算について(P2~5へ)	○	○	-	○	○	○	○	○	○
	可決	令和2年度東峰村後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算について(P2~5へ)	○	○	-	○	○	○	○	○	○

第2回臨時会(3月)議決結果一覧表

区分	審議結果	議案一覧	伊藤均	大蔵久徳	長澤貞義	高倉寛視	高橋弘展	泉守	黒川隆康	梶原光春	梶原伯夫
計画	可決	第2次東峰村総合計画「後期基本計画」の策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	第2期東峰村まち・ひと・しごと総合戦略の策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	可決	東峰村交流促進施設鼓の里 鼓の里公園「ポーン太の森キャンプ場」の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	●	○	○
	可決	東峰村特別養護老人ホーム「宝珠の郷」の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
契約	可決	工事請負変更契約の締結について(農地・農業用施設災害復旧工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	工事請負変更契約の締結について(古民家ゲストハウス建築工事)	○	○	○	●	●	○	○	○	○
	可決	工事請負変更契約の締結について(農家レストラン・農産加工施設新築工事)	○	○	○	●	●	○	○	○	○
	承認	専決処分の承認を求めることについて(松ヶ平川河川災害復旧工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認	専決処分の承認を求めることについて(宝珠山川河川災害復旧工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○

緊急質問!!

緊急質問とは・・・一般質問と異なり、災害や不時の大事故等などで、緊急に質問する必要があると認められる場合に、議会の同意を得て行われる質問のことをいいます。

村ではどう対応?

相談窓口の体制、今後の対策は?

村長 2月21日に「東峰村新型コロナウイルス感染症対策本部」設置し、感染予防・拡大防止の注意喚起をホームページ・東峰テレビ・防災無線等で行っている。村主催のイベントは、中止や延期、規模を縮小しての開催としている。相談窓口は役場や保健所等に設置しており、必要に応じて体制の検討を行っていく。

突然の学校の休校に問題はなかったか?

教育長 色々な方法で関係者へ連絡をしたので問題はなかったと思う。卒業式等の行事は縮小し、情勢を見ながらその都度確認する。3月9日から東峰学園にて1・2年生を対象に朝8時から16時まで預かることを確認している。長期化が見込まれる場合は、PTAと学校がまず対応について協議し、必要に応じて教育委員会も一緒に検討する。



※GIGA・・・
Global and Innovation Gateway for All の略
誰一人取り残すことなく子どもたち一人ひとりに個別最適化され創造性を育む教育ICT環境の実現に向けた施策。

子どもたちのICT環境を強化
1人1台タブレット整備へ

国の「GIGAスクール構想の実現」により、1人1台端末(タブレット)と、高速大容量の通信ネットワークの一体的な整備が行われます。東峰村では令和元年度補正予算で1646万円が計上されました。これにより、調べ学習・表現・制作・遠隔教育・情報モラル教育が充実します。

どげんなっちゃう？

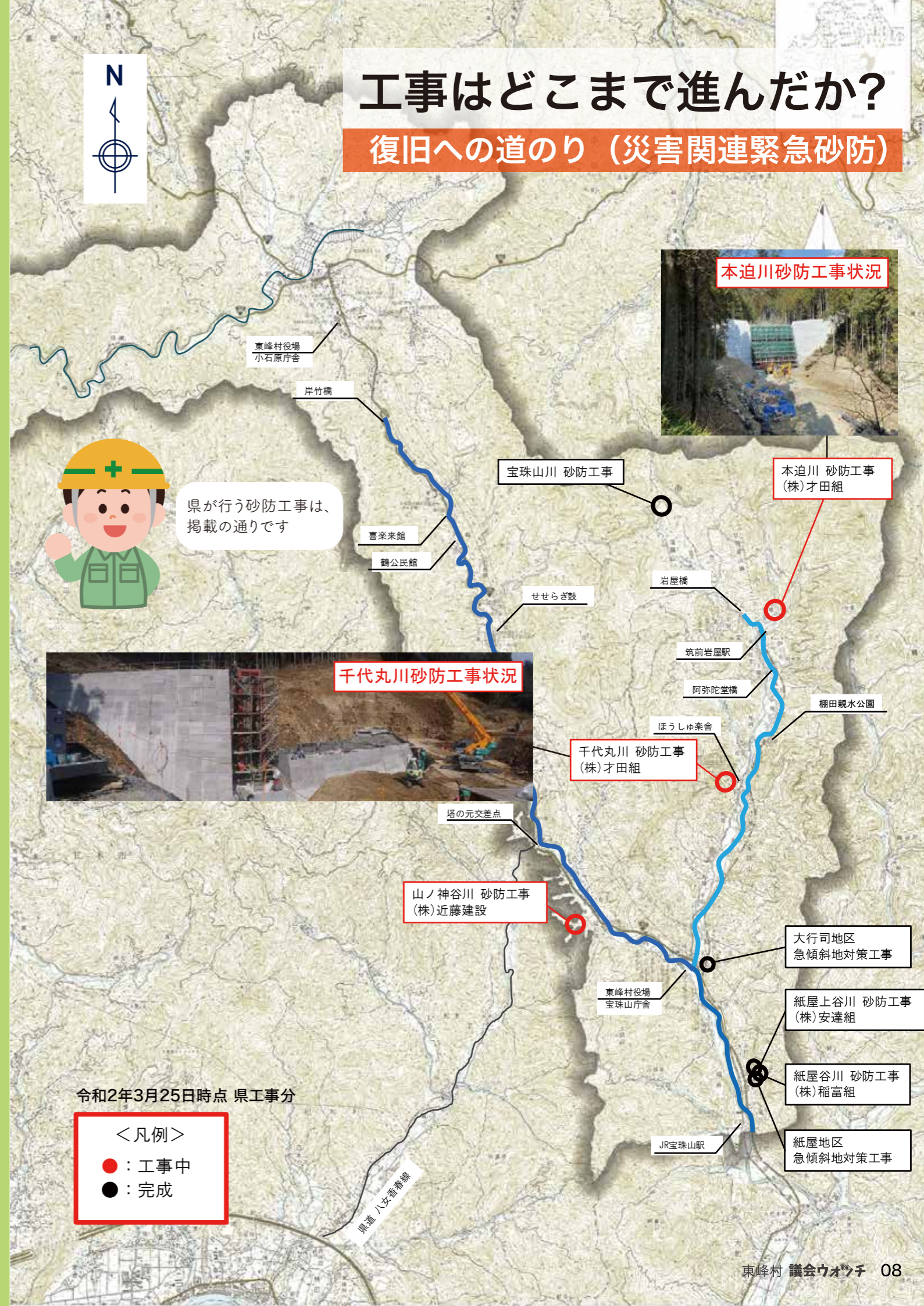
一般質問

質問順	議員名	質疑事項
1	黒川 隆康	村内における行政区割りの在り方について ……P10
2	梶原 伯夫	大型車による道路等の損傷について 災害復旧について 東峰TVについて ……P10 集落支援員について ……P10 日田彦山線問題について
3	伊藤 均	臨時職員雇用状況について ……P11 老人福祉について 福岡県消防相互応援協定について
4	高橋 弘展	宝珠山ふるさと村の経営について ……P11 ふるさと納税について ……P11 東峰村住宅マスタープランについて ……P11
5	長澤 貞義	東京オリンピック選手村ビレッジプラザの件について ……P12
6	梶原 光春	日田彦山線の復旧問題について ……P12
7	高倉 寛視	JR日田彦山線について ……P13 ゲストハウス事業について

一般質問とは・・・

議員が、村の行財政全般にわたって執行機関に疑問点を投げかけ、自治体としての考えを求めるものです。1年に4回ある定例会にて行うことができ、質問と答弁を合わせて1人60分の時間制限の中で行われます。また、東峰村議会では事前に質問の概要を提出し、議会開会前に執行部は答弁の準備を行います。

工事はどこまで進んだか？ 復旧への道のり（災害関連緊急砂防）





行政区割りの再検討は ——村長 実現に向けて1年間議論したい

議員 人口減少が進む中、各地区において役員問題等様々な課題がある。解決の糸口として行政区の区割りを再検討することが必要と考えるが、どのような認識か伺う。

村長 現在、区長会において視察研修を行い、地域コミュニティ協議会の設立について協議中。村としても区割り案について提示を行った。来年1年間、区長会で議論を行い、実現に向けての合意を得たいと考えている。

議員 区長会をみの協議で行っていくのか。あるいは検討委員会等を立ち上げるのか。

村長 委員会が必要であれば検討し、スムーズな地域コミュニティへの移行が出来る体制を取っていききたい。

議員 区長会をみの協議で行っていくのか。あるいは検討委員会等を立ち上げるのか。



区長会と議会の懇談会

議員の想い

住民へは丁寧な説明を



令和2年度の職員数は ——総務課長 総職員数は118名を予定

議員 令和2年度においての一般職員数と会計年度職員数は。

総務課長 一般職員が54名・任期付職員が7名・再任用職員が2名合計で63名、会計年度職員(地域おこし協力隊・集落支援員を含む)が55名の見込み。

議員 新規職員は広報誌にて紹介しているが、職員の紹介や担当状況を記載した広報誌を配布し、顔の見える形に出来ないか。

村長 再度検討して、村民に分かるよう写真と担当部署がわかるようお知らせする。

議員 包括支援センター職員1名は、新規募集か。
保健福祉課長 新たな母子健康法での「子育て世代包括支援センター」設置による募集。



東峰テレビの番組の作り方は ——企画政策課長 審議会で編成・内容は協議する

議員 番組制作費はいくらか。
企画政策課長 (株)プリズムに委託契約しており、576万7,200円+消費税。

議員 村営ケーブルテレビなのに、委託会社の人が東峰テレビを代表しているように見えるのはなぜか。

村長 そのように見えるのであれば、今後検討して是正すべきは是正する。

集落支援員等について

議員 集落支援員、民生委員、ヘルパーの仕事は。

村長 集落支援員は、人口減少や高齢化等の進行が著しい地域を支援する活動を行うために導入。

保健福祉課長 民生委員は、厚生労働省より委託され各地域の全世代に渡って支援、サポート



東峰テレビ局

議員の想い

面白い番組が見たい



宝珠山ふるさと村の経営状況は ——村長 社長就任後累積赤字は4700万円

議員 宝珠山ふるさと村の経営状況を伺う。

村長 社長に就任以降の累積赤字は約4700万円となっている。

議員 延田住宅の件は解決したのか。

村長 現在係争中であるので、答弁は差し控えてさせていただく。

ふるさと納税について

議員 ふるさとチョイス、楽天への出品制限が行われているが、出品者への説明は。

村長 在庫管理している「さとふる」に優先的に割り当てられており、今後協議を行う。出品者へお詫びし、今後は周知を図る。

議員 村内観光施設で、直接ふるさと納税し、返礼品を持ち帰る仕組みは作れないか。

住宅施策について

議員 村内に住める家がなく、村外に出る事例もある一方、近年災害分も合わせ34戸も建設している。今後の計画は。

村長 現在、災害復旧費用で財政は緊迫している。一段落すれば、若い人たちが村から流出しない政策の一つとして住宅の建設を行いたい。

議員 ふるさとチョイス、楽天への出品制限が行われているが、出品者への説明は。



ふるさと納税サイト「さとふる」

議員の想い

来てもらって納税する仕組みを



以前の広報誌で掲載した職員紹介

議員の想い

効率的な行政運営を



五輪選手村で利用後の木材活用は —— 村長 村民のアイデアを取り入れたい

議員 東京オリンピック・パラリンピックの選手村ビレッジプラザに使用されている木材は、全国63の自治体から出展されている。福岡県では東峰村だけが出展しており、これをメディア等にPRすべきではないか。

村長 オリンピックの開催が近づいてきたら、県庁の記者クラブやマスコミ等、東峰テレビを含めてPRしていきたい。



東京オリンピック・パラリンピック選手村

村長 村民の方々からアイデア等を出していただき、後世に残せるものを作ることができればよいと思っている。

議員 東京オリンピック・パラリンピックに出展された木材は、大会期間中の選手たちの生活を支える施設として利用される。大会後は各自治体に戻ってくるが、東峰村に帰ってきた木材の活用はどう取り組んでいくのか。

議員の想い
みんなが使えるレガシーを



JR復旧会議に臨む気概は —— 村長 議員、村民と一緒に戦っていく

議員 日田彦山線の鉄道での復旧は、先日の県議会超党派による「九州の自立を考える会」の視察にて考えが変わったのか。また、東峰村議会では、「鉄道での早期復旧を求める決議」が二度に渡って、全会一致で可決されている。今後の復旧会議に臨む、気概、気力を尋ねる。

村長 「九州の自立を考える会」の県議有志24名が来村し、日田彦山線の現状を確認していただいたことは、深く感謝している。また、「日田彦山線の完全復旧を求める会」の皆さん方の署名においても、17,906名分集まったという大きな事実がある。東峰村住民の総意として、鉄道での復旧を求めているので、私もその考えに沿った行動を、今後も行っていきたい。これか



釈迦岳トンネル

らも議員の皆さん、そして村民の皆さんと一緒に戦っていききたい。

議員の想い
一日も早く鉄道を!



JR代行バス利便性向上の交渉は —— 村長 法的に路線バスではないので困難

議員 JR代行バスを村民が利用しやすくなるように、話し合いはできないか。例えば、岩屋駅始発のバスを竹地区を始発にすることや、村民がどこでも乗り降りできるように、フリーバス化ができないか。

村長 岩屋駅始発は大型バスなので、竹地区までは上がれない。西鉄の路線バスと違って、代行バスは法的に難しい。

道を通すメリットは何か。
村長 定時性、安全性、大量輸送ではないかと思う。

議員 多額の負担金を出すことに、村民の理解は得られるのか。
村長 負担をしても、復旧してくれとの意見もある。

議員 鉄道を復旧しても、岩屋駅や大行司駅に行くのに、栗松・板屋地区住民は駅まで相当な距離を移動する必要がある。鉄道復旧がいつになるかわからないので、村長は村民の利便性を考え、交渉の努力をさせていただきたいが、考えは。

村長 栗松地区などについても、タクシー補助券を行っている。

議員 負担金を出してまで、鉄

JR代行バスは次の2種類のバスで運行しています。

議員の想い
村民が利用しやすいバスの運行を

西鉄バスタイプ マイクロバスタイプ



上町(小石原中央区)にある『京や』に行ってきました。

「京やは、以前、旅館と会席料理の店として営業していましたが、近年は地域の方の宴会や花見客等が減少してしましました。この地で営業を続けていくため、平成13年からそば料理の調査を始め、あちこちのそば料理を食べ回り蕎麦打ちの練習も重ねて、平成16年にそば料理の店として再スタートしました。

「そば」にはこだわりがあり、



蕎麦10・つなぎ1の割合の外一(といち)蕎麦を出しています。9月から北海道産の蕎麦を使い、その次に茨城産、熊本産、そして11月から鹿児島島の霧島高原産と、美味しい蕎麦を提供するために全国の新蕎麦の出荷時期に合わせて取り寄せています。

平成29年の災害時には、畳と建具が水に浸かり全部取り換えるほどの被害がありました。被害を受けたのは自分だけではなく、村内2ヶ所の避難所に2日間炊き出しに行き、うどんを300食ぐらい提供させていただきました。

今後も体力が続くかぎり料理を出したいと語られていました。

子どもたちと家族はどう影響した？



今年に入り全世界で猛威をふるう新型コロナウイルスにより、東峰村でも東峰学園の休校等、子どもと家族にも影響が広がっています。そこで、村内の子育て支援サークル「そ

いびーんず」の皆さんのご協力のもと、アンケートをとらせていただきました。休校後の子どもたちの過ごし方と家族の対応等についてお聞きしました。

東峰村での対応	
3月2日～	東峰学園休校、子ども館閉館
3月9日～24日	東峰学園での預かり(1、2年生対象)
3月25日～4月3日	子ども館での預かり(1、2年生対象)
4月6日～	子ども館の預かり(1、2、3年生対象)

緊急アンケート

「そいびーんず」の皆さん29名中、15名の回答
(4月1日～3日実施)
そいびーんず:日々の暮らしをより楽しむ為の講座や親同士の意見交換、子ども同士の交流等の活動を行っています。

1. 休校後、子どもたちは誰とどこで過ごしましたか？

どこで？…自宅、学校預かり、同級生宅預かり
だれと？…家族(母親、1人で留守番、両親、祖父、祖母、学校の友だち、帰省中の姉、実家のいとこ)

2. 子どもたちは日中どのように過ごしましたか？

午前	午後
勉強、運動、読書	テレビ、ゲーム、読書
学習	自由に過ごすように伝えていた
宿題、ゲーム	散歩、公園、テレビ、ゲームなど
宿題、敷地内で遊ぶ、テレビ	ゲーム、敷地内で遊ぶ、夕方散歩
オンラインの教材やアプリを使って勉強	工作やイラスト、クラフト作成、ゲーム、動画を見て過ごす。天気の良い時だけ、ひと気のない場所で散歩
勉強	運動等
勉強、読書、TV、家の手伝い	それぞれの趣味(ピアノ、裁縫、絵を描く、粘土作品作りなど、外で兄弟で遊ぶ、TV)
宿題、ガラガラ、タブレット、読書	天気の良い日のみ村内うろうろ、ガラガラ、タブレット
勉強、読書、人形遊びや絵描き、外遊び(庭&田んぼで縄跳び、砂遊び、虫取り)	午前と同様に
夏休みと同様の1日のスケジュールを作り、宿題・外遊び・ゲームなどの時間を決めてそれに沿って過ごすようにアドバイスした	
勉強は宿題をやるのみ、あとは室内で漫画、読書、TV	

3. 【東峰学園の預かりを利用された方へ】利用についての感想は？

- ・1日のスケジュールが決まっていたが、普段の授業とは違い、プリントと向き合い続けて40分はかなり疲れた様子だった。体を動かして遊べたのはよかった。
- ・大変助かった。宿題もやって帰って来ていたし、身体を動かす時間もあり、子どもも楽しく過ごせていた。

育休中の保護者の方や出産前の方からも意見をいただきました。

- ・「3月は家庭で保育できる方はお願いします」言われ、下の子は保育所へ行きたがったり、家にいることで精神的に不安定さが見られた。
- ・何でも気軽に相談できる場所があったら嬉しい、(人と接触しなくてもできる)電話やLINEなどで。
- ・出産のため、出勤残り2日前にコロナの関係で自宅待機となり、そのまま退職となった。

4. 休校後、保護者の仕事への影響は？

- ・自営業なので、毎日日曜日のような感じで、子どもを見守りながらの仕事。また、小学生には家業の手伝いもさせた。
- ・休校、外出規制期間が延長する可能性や、子どもが体調不良になった時等を考えて、休校のための休暇はとらなかった。学園への送迎の時には上司の許可をもらい対応した。
- ・祖父母の予定がある日は、父母のどちらかが休みをとった。
- ・子どもたちの様子を見ながらの仕事は普段の半分もできていなかった。合間を見て仕事をし、家事をして、食事を作り、できなかった仕事は夜に回した。

5. 今回の休校措置で一番困ったことは？

- ・行動が制限されたこと
友だちと会えない、遊べない、家にこもる、テレビゲームが多くなる。体力低下、運動の機会が減る。子どもたちのエネルギー消費ができない。
- ・学習について
勉強できなくなる。学習の習慣がなくなる。勉強習慣が途切れた。学園、先生達の認識や対応に個人差があるのがとても困惑した。
- ・給食がない
昼食の準備。毎日お弁当を作れなかったため、そんな時は簡単なものになり長期間になると栄養面も気になってきていた。
- ・生活リズムが崩れること
子どもの気持ちをどのように受け止めるか。勉強をさせたり教えたり(1日に限度があり)が難しく困った。子ども自身動けないことへのストレス、親も不安な気持ちとストレスから長期にわたると疲れがたまってきた。

子どもたちの居場所

共働きされている方に対して知り合いに頼んでくださいはずらい。核家族の方もいるのでその時はどちらかが休まないといけないこともあり、その場合の心のケアも考えてほしい。

経済的援助

子どもに持病があるので仕事を辞めて、感染しないような生活を強いられているが、国から経済的援助が一切ないこと。

6. 今後、コロナの影響が長引くことで不安なことは？

- ・勉強の進捗・遅れ、学習時間の不足、学力の低下
入学したばかりで休校になると勉強が遅れそう。自分だけでできるのは人にもよるが限度がある。学校だとやらないといけない環境だから、やるしかない。
- ・積極性や意欲の低下
毎日だらだらしているので積極性が薄れないか気がかり。
- ・学校とのつながりが薄れないか
学校に行かなくてもいいという感覚にならないか。

体力の低下

どこまで自粛かわからない制限に親も子ども運動不足とストレスがたまってくる。

ストレスがたまる

いつも活動していることができないこと。精神的なフォローが出来ないかもしれない。

栄養の偏り

給食などのおかげで、1日の栄養バランスがとれていた。

感染予防

とにかく命が大事！感染防止が不安です。村だから田舎だから安全だろうと訪れてくる観光客。村も安全ではないかと感じてしまう。経済的な面でもこう長く続くと収入も減り、先の見通しが立たなくなってくる。

7. コロナ影響下(休校等)で、こんな対応・対策ができないか？

親への対応

コロナに関してはいつ感染するかわからないので、各家庭で子どもをみる必要がある。そのために親の仕事が欠勤になる場合は保証が必要と思う。

タブレット学習や東峰テレビの活用

自粛中の過ごし方の提案、危機管理の取り組み方の発信。学校行事のオンライン中継。

長期になるのであれば各自宅でのタブレット学習や東峰テレビの活用ができないか。

これを機に、様々な事情で登校できない児童、生徒のためにオンラインなどで授業をフォローできる体制を整えてほしい。学園からのお便りはメール、PDF等で対応できるようにすれば先生たちの負担も紙やインク代も削減できる。

登校日の設定

週1回でも学校に行かせたい(各学年別日にするなどして)。時々出校日がほしいところだけど、感染リスクもある。

子どもたちが都会に比べて少ないのだからこそ、首都圏と同じ対応ではなく学年ごとに登校日等の対応ができたかと思う。

子どもの過ごす場所

外遊びできる環境。勉強や運動教室があってほしい。

守秘義務について

村に感染者が出てくることでうわさが回ったりして、その方が不安な気持ちになってほしくない。守秘義務をきちんと徹底してほしい。

東峰村議会でも情報を共有し、関係機関と連携してまいります。



県議会傍聴 鉄道での完全復旧を応援!!

2月末から3月末にかけて行われた福岡県議会2月定例会に、合計5回、議員有志にて傍聴に行って参りました。

それは、日田彦山線問題が取り上げられることとなったからです。本会議での代表質問に引き続き、予算特別委員会にて自民党県議団・民主県政県議団・公明党・緑友会・日本共産党の各会派の方々から、知事のこれまでの対応についての質疑が行われました。

自民党県議団からは「JRとは異なる4案の提示」、民主県政県議団からは「BRTは事実上バス転換で、断じて容認できない」、緑友会からは「鉄道での復旧のための会議だったが、目的が変わっているのでは」等の質問が出されました。しかし、知事や担当部署はなかなかはっきりとした答弁ができずに、何

度も審議がストップしました。

最終的に知事は復旧方策について結論を出すことができず、「令和2年度当初予算案で示すことができなかった」と釈明されました。

最終日には、日田彦山線沿線復興へ新基金の設置する旨の決議が、全会一致で可決されました。しかし、未だ結論は出ておらず、まだまだこれからも戦い続けていかねばなりません。



4月5日 自民党県議団による提案内容説明会

編集後記

人間の記憶の彼方に百年前のウイルスの猛威が世界中の人類を恐怖のどん底に陥れた事を、知っている人はどの位いるだろうか？

歴史の中で、医療の進歩によって、人間の寿命は大きく伸びたが、過去の経験や記憶は時間の経過と共に、忘れ去られてしまうものかもしれない。

まだまだ人間の想像を超えた、ウイルスや災害は思いもかけない時に降りかかるのかも知れない。
一日も早く終息してほしいと願う毎日である。
(梶原光春)

発行責任者	佐々木 紀嘉	副委員長	梶原 伯夫	委員長	高橋 弘展
発行責任者	梶原 光春	副委員長	高倉 寛視	委員長	長澤 貞義
発行責任者	梶原 伯夫	副委員長	高橋 弘展	委員長	高橋 弘展